

「生活意識に関するアンケート調査」(第11回) の結果

平成12年12月1日
情報サービス局

(はじめに)

日本銀行では、政策・業務運営の参考とするため、本店や支店を通じた広報活動の中で、国民各層の意見や要望を幅広く聴取するよう努めていますが、その1つの手法として、平成5年以降、全国20歳以上の男女個人4,000人を対象に「生活意識に関するアンケート調査」を実施しています。この調査は、日本銀行が四半期ごとに行っている「企業短期経済観測調査(短観)」のような統計指標としての調査ではなく、生活者の意識や行動を大まかに窺う一種の世論調査です。

(調査概要)

- ・調査実施期間……平成12年9月22日(金)～10月2日(月)
- ・調査対象……全国の20歳以上の男女個人
- ・標本数……4,000人(有効回答者数3,150人<有効回答率78.8%>)
- ・抽出方法……層化2段無作為抽出法
- ・調査方法……設問票によるアンケート調査(訪問留置法)

(調査結果の概要)

1. 足許の景況感D. I. (1年前対比、「良くなっている」－「悪くなっている」)は、引続き改善(前回比+9.2%ポイント)。

一方、1年後までの変化については、先行きに関するD. I. (「良くなっていると思う」－「悪くなっていると思う」)は一進一退の動き(前回比▲1.1%ポイント)。

<景況感D. I.の推移(%)>

	8年3月 調査	9年3月 調査	10年3月 調査	10年11月 調査	11年3月 調査	11年9月 調査	12年3月 調査	今回調査
現在 (前回比)	-23.0	-30.2	-70.5	-77.8	-51.5	-35.9	-29.8	-20.6
	—	(-7.2)	(-40.3)	(-7.3)	(+26.3)	(+15.6)	(+6.1)	(+9.2)
1年後の予想 (前回比)	-2.2	-24.8	-21.6	-20.1	-1.3	-1.4	0.2	-0.9
	—	(-22.6)	(+3.2)	(+1.5)	(+18.8)	(-0.1)	(+1.6)	(-1.1)

2. 暮らし向きD. I. (1年前対比、「ゆとりが出てきた」－「苦しくなってきた」)はやや改善(前回比+1.7%ポイント)したが、景況感D. I.に比べ、改善の足取りは鈍い。

<暮らし向きD. I.の推移(%)>

	10年3月 調査	10年11月 調査	11年3月 調査	11年9月 調査	12年3月 調査	今回調査
現在 (前回比)	-42.5	-49.4	-42.2	-42.9	-41.1	-39.4
	—	(-6.9)	(+7.2)	(-0.7)	(+1.8)	(+1.7)

3. 収入D. I. (1年前対比、「増えた」－「減った」)はやや改善(前回比+2.4%ポイント)。1年後までの変化については、「減ると思う」が減少したことから、先行きに関するD. I. (「増えると思う」－「減ると思う」)も幾分改善(前回比+3.2%ポイント)。

<収入D. I.の推移(%)>

	8年3月 調査	9年3月 調査	10年3月 調査	10年11月 調査	11年3月 調査	11年9月 調査	12年3月 調査	今回調査
現在 (前回比)	-11.9	-10.0	-22.8	-37.0	-34.2	-39.3	-37.1	-34.7
	(-2.3)	(+1.9)	(-12.8)	(-14.2)	(+2.8)	(-5.1)	(+2.2)	(+2.4)
1年後の予想 (前回比)	—	-7.6	-21.0	-29.8	-23.1	-27.1	-26.5	-23.3
	—	—	(-13.4)	(-8.8)	(+6.7)	(-4.0)	(+0.6)	(+3.2)

4. 支出(1年前対比)については、「減らしている」が減少し、支出D. I. (「増やしている」－「減らしている」)は改善(前回比+3.0%ポイント)。一方、1年後までの変化については、ほとんどスタンスは変わらず、先行きに関するD. I. (「増やそうと思う」－「減らそうと思う」)は横這い(前回比▲0.1%ポイント)。

<支出D. I.の推移(%)>

	8年3月 調査	9年3月 調査	10年3月 調査	10年11月 調査	11年3月 調査	11年9月 調査	12年3月 調査	今回調査
現在 (前回比)	-38.4	-16.7	-34.7	-36.0	-35.8	-35.4	-35.4	-32.4
	—	(+21.7)	(-18.0)	(-1.3)	(+0.2)	(+0.4)	(±0.0)	(+3.0)
1年後の予想 (前回比)	-49.7	-38.6	-40.9	-43.6	-41.3	-37.8	-38.5	-38.6
	—	(+11.1)	(-2.3)	(-2.7)	(+2.3)	(+3.5)	(-0.7)	(-0.1)

(個別結果)

構成比は小数第2位四捨五入。このため、図表での構成比の合計が100にならないことがある。

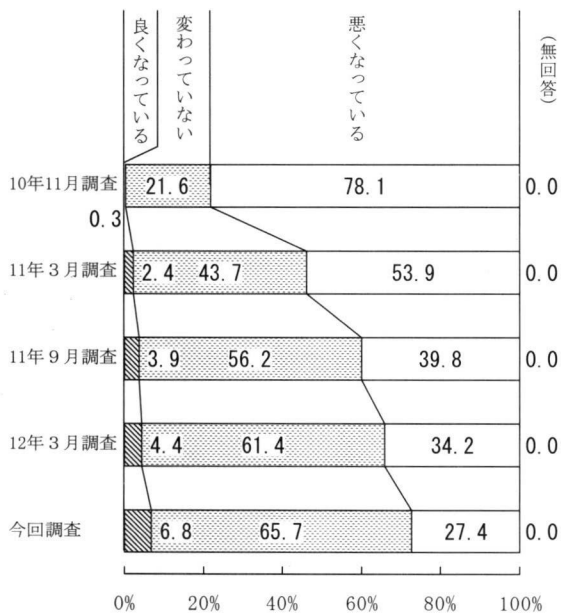
1. 景況感

足許の景況感D. I. (1年前対比、「良くなっている」－「悪くなっている」)は、引続き改善(前回比+9.2%ポイント)。

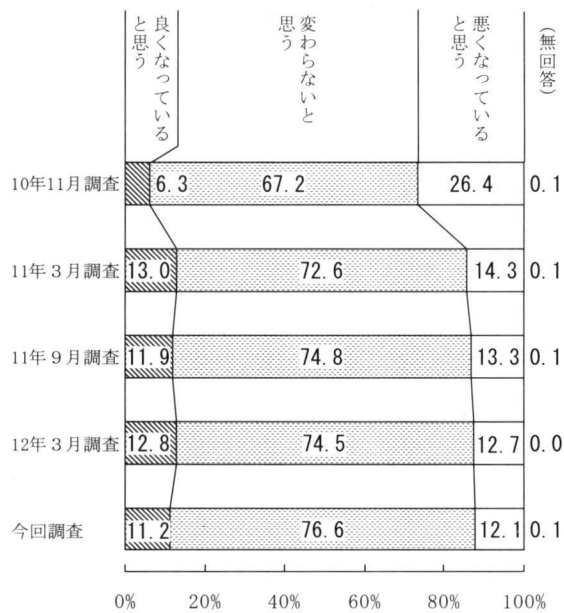
一方、1年後までの変化については、先行きに関するD. I. (「良くなっていると思う」－「悪くなっていると思う」)は一進一退の動き(前回比▲1.1%ポイント)。

(図表1) 景況感 (%)

<現在と1年前を比べて>



<1年後と現在を比べて>



<D. I. の推移>

	8年3月調査	9年3月調査	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	12年3月調査	今回調査
現在	-23.0	-30.2	-70.5	-77.8	-51.5	-35.9	-29.8	-20.6
(前回比)	—	(-7.2)	(-40.3)	(-7.3)	(+26.3)	(+15.6)	(+6.1)	(+9.2)
1年後の予想	-2.2	-24.8	-21.6	-20.1	-1.3	-1.4	0.2	-0.9
(前回比)	—	(-22.6)	(+3.2)	(+1.5)	(+18.8)	(-0.1)	(+1.6)	(-1.1)

<景気判断の方法別に見た景況感>

景況感D. I. (1年前対比)を“景気判断の方法”別に見ると、「自分や家族の収入の状況から」や「勤め先や自分の店の経営状況から」判断している人に比べて、「マスコミを通じて」あるいは「景気関連指標等を見て」判断している人のD. I.水準およびその改善幅が、引続き良好さを保っている。

(図表2) 景気判断の方法別に見た景況感D. I. (%)

		景況感D. I. (「良くなっている」－「悪くなっている」)						
		11年9月		12年3月		今回		
			前回比		前回比		前回比	
全体		-35.9	15.6	-29.8	6.1	-20.6	9.2	(今回ウェイト)
景気判断の方法※	「勤め先や自分の店の経営状況から」と回答	-46.8	15.6	-40.7	6.1	-30.6	10.1	39.7
	「自分や家族の収入の状況から」と回答	-41.9	15.7	-38.7	3.2	-31.5	7.2	37.5
	「商店街、盛り場などの混み具合を見て」と回答	-43.0	12.1	-31.6	11.4	-26.8	4.8	29.3
	「マスコミを通じて」と回答	-28.0	19.7	-19.9	8.1	-9.4	10.5	28.8
	「景気関連指標、経済統計を見て」と回答	-27.4	24.1	-19.8	7.6	-6.5	13.3	10.8
	「なんとなく漠然と」と回答	-15.1	-2.6	-11.8	3.3	-1.7	10.1	7.3

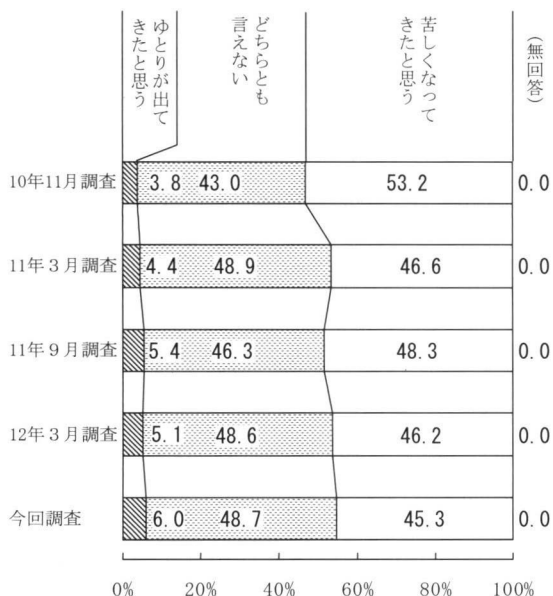
※2つまでの複数回答。

2. 暮らし向き、消費意識

(1) 現在の暮らし向き

暮らし向きD. I. (1年前比、「ゆとりが出てきた」－「苦しくなってきた」)はやや改善(前回比+1.7%ポイント)したが、景況感D. I.に比べ、改善の足取りは鈍い。

(図表3) 現在の暮らし向き (%)



<D. I.の推移>

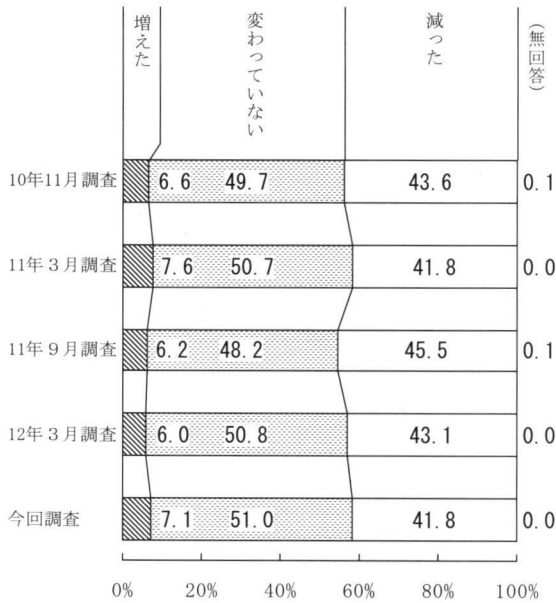
	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	12年3月調査	今回調査
暮らし向きD. I.	-42.5	-49.4	-42.2	-42.9	-41.1	-39.4
(前回比)	—	(-6.9)	(+7.2)	(-0.7)	(+1.8)	(+1.7)
景況感D. I.	-70.5	-77.8	-51.5	-35.9	-29.8	-20.6
(前回比)	(-40.3)	(-7.3)	(+26.3)	(+15.6)	(+6.1)	(+9.2)

(2) 収入、雇用環境

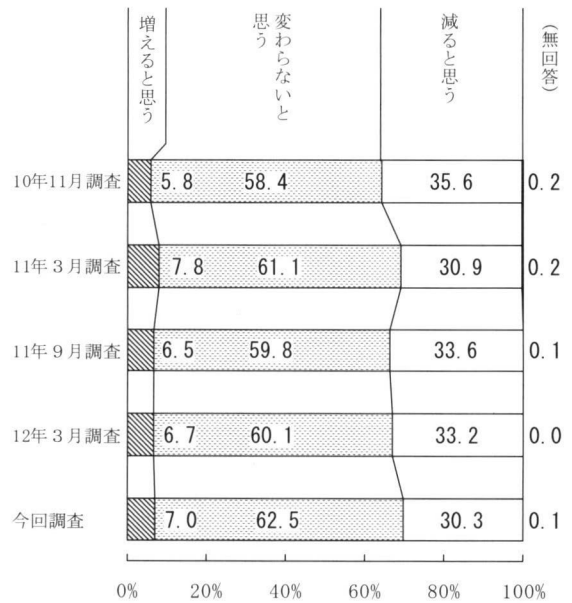
収入D. I. (1年前対比、「増えた」-「減った」)はやや改善(前回比+2.4%ポイント)。1年後までの変化については、「減ると思う」が減少したことから、先行きに関するD. I. (「増えると思う」-「減ると思う」)も幾分改善(前回比+3.2%ポイント)。

(図表4) 収入 (%)

<現在と1年前を比べて>



<1年後と現在を比べて>



<D. I. の推移>

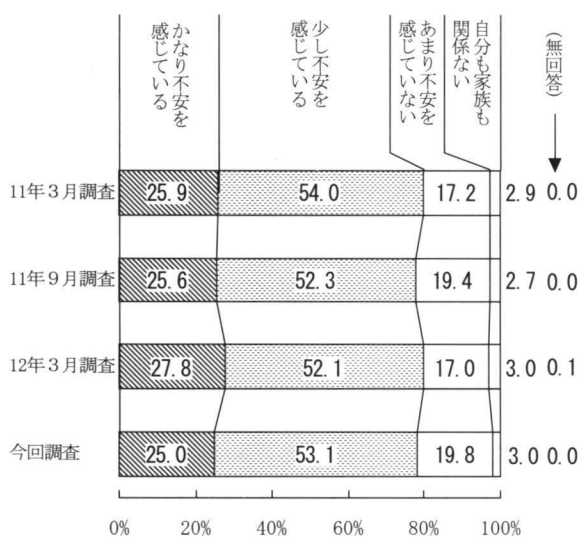
	8年3月調査	9年3月調査	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	12年3月調査	今回調査
現在 (前回比)	-11.9 (-2.3)	-10.0 (+1.9)	-22.8 (-12.8)	-37.0 (-14.2)	-34.2 (+2.8)	-39.3 (-5.1)	-37.1 (+2.2)	-34.7 (+2.4)
1年後の予想 (前調査)	—	-7.6	-21.0 (-13.4)	-29.8 (-8.8)	-23.1 (+6.7)	-27.1 (-4.0)	-26.5 (+0.6)	-23.3 (+3.2)

(2) 収入、雇用環境 (続き)

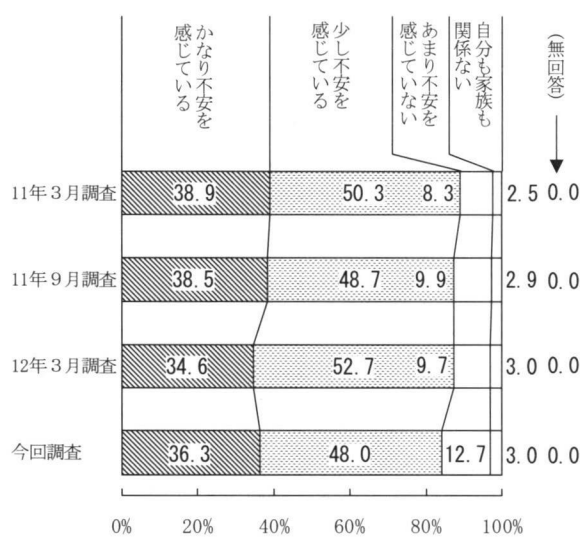
この間、勤労者の中で勤め先の雇用・処遇について不安を感じている^(注)人は78.1%、自営業者の中で自分の事業について不安を感じている人は84.3%と、引続き高止まりしているが、前回比ではともに若干減少。

(注) 『不安を感じている』は、「かなり不安を感じている」と「少し不安を感じている」の合計。

(図表5) 勤め先での雇用・処遇についての不安(%、勤労者)



(図表6) 自分の事業についての不安(%、自営業者)



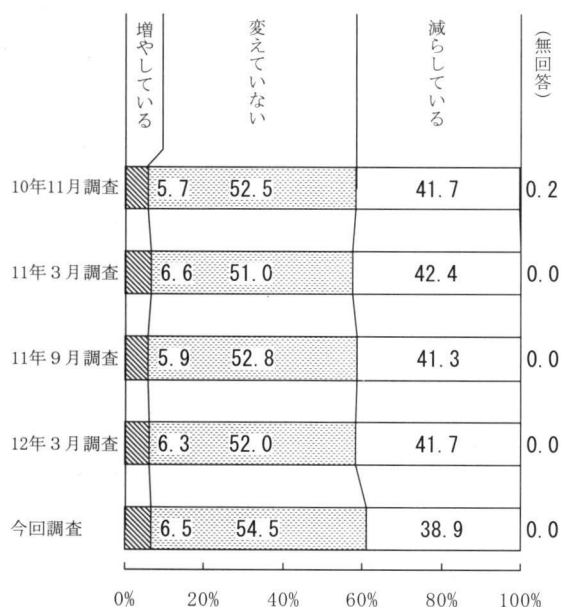
(3) 支出

支出(1年前対比)については、「減らしている」が減少し、支出D. I. (「増やしている」-「減らしている」)は改善(前回比+3.0%ポイント)。一方、1年後までの変化については、ほとんどスタンスは変わらず、先行きに関するD. I. (「増やそうと思う」-「減らそうと思う」)は横這い(前回比▲0.1%ポイント)。

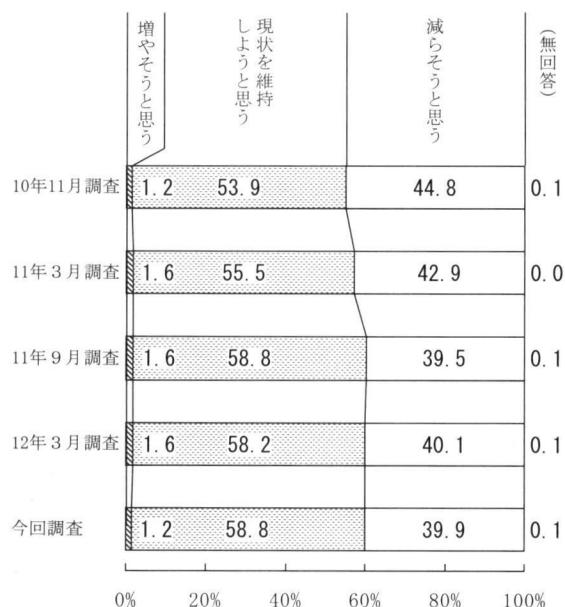
支出を増やしている理由を見ると、「収入が増えているから」が前回比増加。一方、支出を減らしている理由としては、「将来の仕事や収入に不安があるから」が引続き最も多い。

(図表7) 支出 (%)

<現在と1年前を比べて>



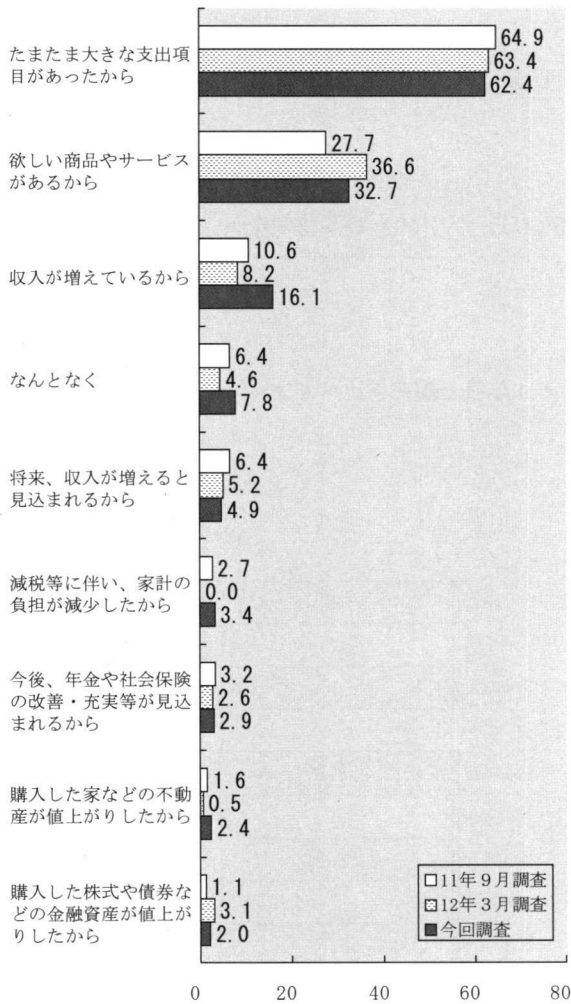
<1年後と現在を比べて>



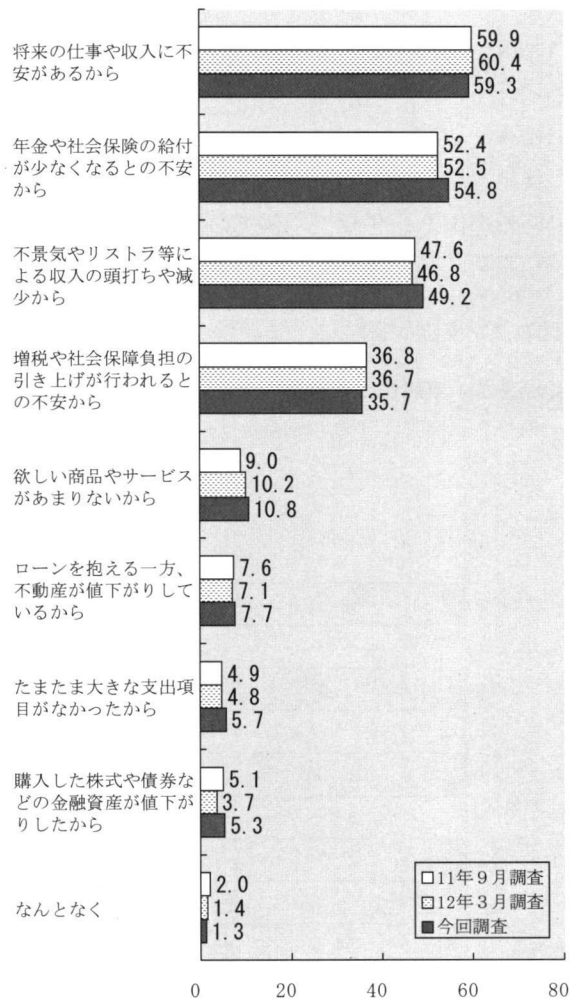
<D. I. の推移>

	8年3月調査	9年3月調査	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	12年3月調査	今回調査
現在 (前回比)	-38.4	-16.7 (+21.7)	-34.7 (-18.0)	-36.0 (-1.3)	-35.8 (+0.2)	-35.4 (+0.4)	-35.4 (±0.0)	-32.4 (+3.0)
1年後の予想 (前回比)	-49.7	-38.6 (+11.1)	-40.9 (-2.3)	-43.6 (-2.7)	-41.3 (+2.3)	-37.8 (+3.5)	-38.5 (-0.7)	-38.6 (-0.1)
景況感D. I. (前回比)	-23.0	-30.2 (-7.2)	-70.5 (-40.3)	-77.8 (-7.3)	-51.5 (+26.3)	-35.9 (+15.6)	-29.8 (+6.1)	-20.6 (+9.2)

(図表8) 支出を増やしている理由(%, 複数回答)



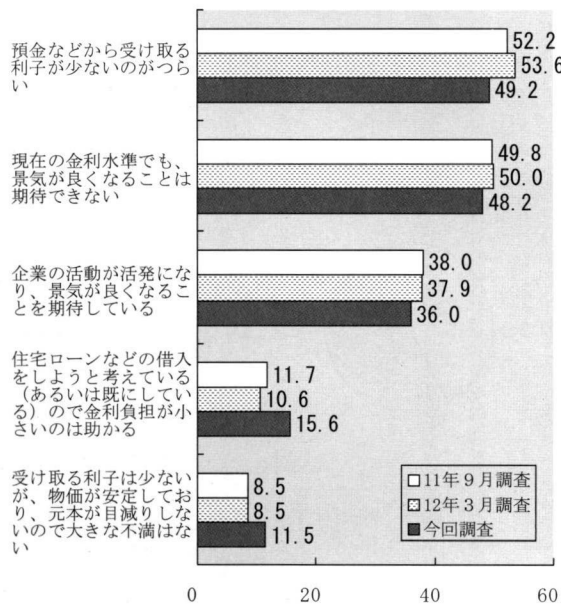
(図表9) 支出を減らしている理由(%, 複数回答)



3. 金利水準に対する意識

金利水準に対する意識については、「住宅ローンなどの借入をしようと考えているので金利負担が小さいのは助かる」、「受け取る利子は少ないが、物価が安定しており、元本が目減りしないので大きな不満はない」が前回比増加。

(図表 10) 金利水準に対する意識 (%、2つまでの複数回答)



4. 金融

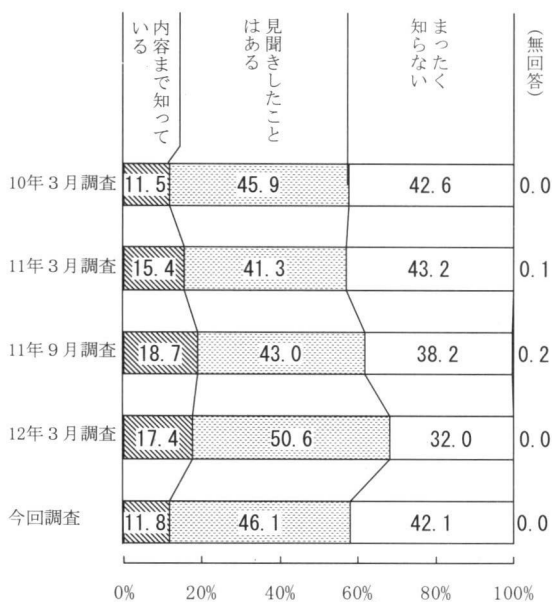
(1) 預金保険制度の認知度

預金保険制度を知っている^(注)人は全体の57.9%、預金保険制度の特例措置を知っている人は48.5%となっている（特例措置がこれまで13年3月末であったことまで知っている人は20.3%）。

なお、特例措置を知っている人のうち、預金保険法の改正について、特例期間の延長まで知っている人は31.7%、特例期間後の制度見直しまで知っている人は20.6%となっている。

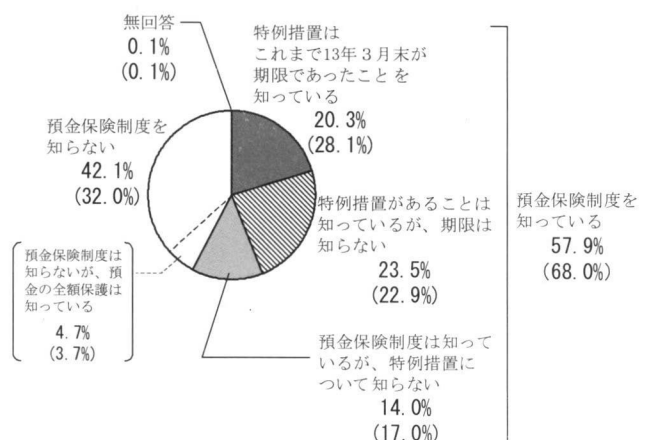
(注) 『知っている』は、「内容まで知っている」と「見聞きしたことはある」の合計。

(図表 11) 預金保険制度の認知度 (%)



(図表 12) 特例措置とその期限の認知 (%)

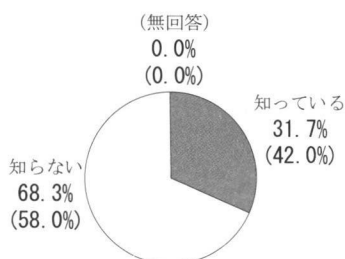
※かつこ内は、12年3月調査。



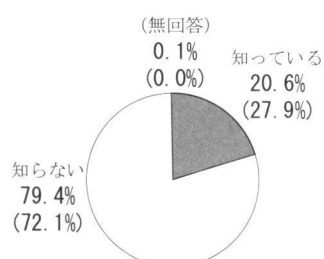
(図表 13) 預金保険法改正の認知 (特例措置を知っている人、%)

※かつこ内は、12年3月調査。

<特例期間の延長>



<特例期間後の制度見直し>

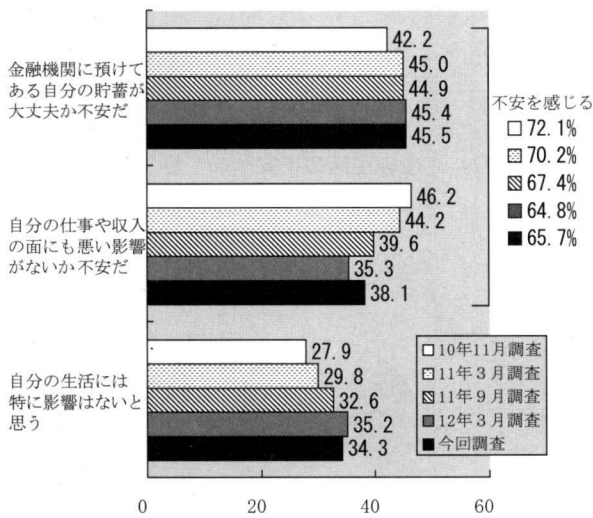


(2) 金融機関破綻に関する受け止め方

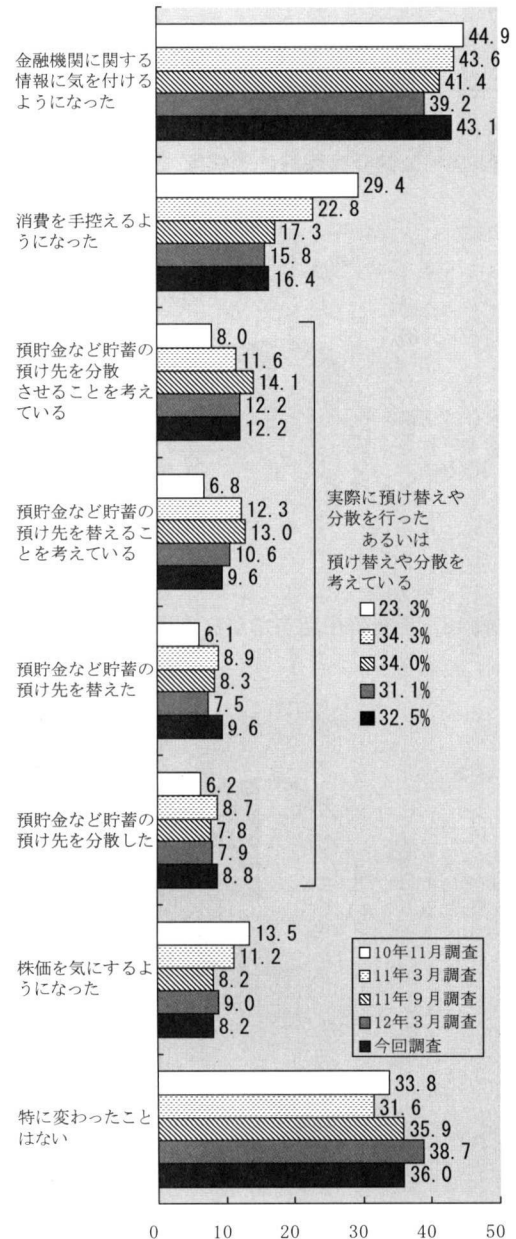
金融機関の破綻に関しては、「金融機関に預けてある自分の貯蓄が大丈夫か不安だ」が横這いの中、「自分の仕事や収入の面にも悪い影響がないか不安だ」が幾分増加。

この間、金融不安・金融機関破綻のニュースを聞いて、「金融機関に関する情報に気を付けるようになった」とする人が若干増加しており、実際に預け替えや分散を行った、あるいは、今後預け替えや分散を考えるとする人も、引続き約3割存在。

(図表 14) 金融機関の経営破綻に関する受け止め方 (%、2つまでの複数回答)



(図表 15) 金融不安・金融機関破綻報道による行動や意識の変化 (%、複数回答)



5. 介護問題

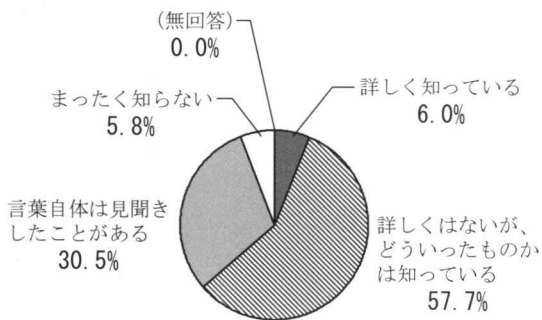
公的介護保険の認知度は、少なくともどういったものか知っている^(注1)人が全体の63.7%で、「まったく知らない」人は5.8%に止まっている。少なくともどういったものか知っている人においては、公的介護保険の導入によって老後の生活に対する不安感が減った^(注2)のは18.8%と、「不安感是不変わる」、「むしろ不安感が増した」の両者を下回っている。

また、老後の生活について、「主に年金など国や公的制度によってまかなわれるべき」と考える人は半数近くに達しており、「就労や貯蓄など自助努力によってまかなうべき」と考える人を大きく上回っている。

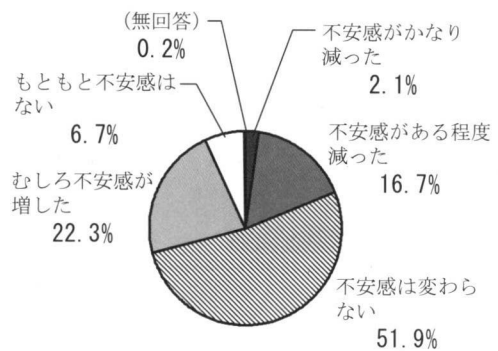
(注1) 『少なくともどういったものか知っている』は、「詳しく知っている」と「詳しくはないが、どういったものか知っている」の合計。

(注2) 『不安感が減った』は、「不安感がかなり減った」と「不安感がある程度減った」の合計。

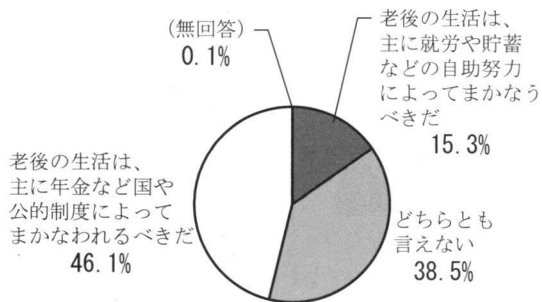
(図表 16) 公的介護保険の認知度 (%)



(図表 17) 老後の生活の不安への影響 (%)



(図表 18) 老後の生活をまかなう手段 (%)



(調査結果)

生活意識に関するアンケート調査

(注) 太文字の数値は回答比率 % (小数第2位を四捨五入したことや、無回答者を掲記していないことから、単数回答項目について、その構成比は必ずしも100にならない)。

問1. 現在、関心を持っている経済問題は何ですか。(〇は3つまで)

1 景気	68.8	7 金融システム問題	6.4
2 雇用、収入	38.3	8 財政、税金	30.9
3 物価	27.6	9 高齢化、少子化	46.3
4 地価	4.8	10 規制緩和	5.1
5 株価	6.2	11 産業空洞化、国際競争力	5.6
6 金利	25.2	12 その他(具体的に)	0.5

問2. 1年前と比べて、最近の景気はどう変わったと思いますか。(〇は1つ)

1	2	3
良くなっていると思う	変わらないと思う	悪くなっていると思う
6.8	65.7	27.4

問3. そうお考えになるのは、主にどのようなことからですか。(〇は2つまで)

1 マスコミを通じて	28.8	5 商店街、盛り場などの混み具合	29.3
2 景気関連指標、経済統計を見て	10.8	を見て	
3 勤め先や自分の店の経営状況	39.7	6 なんとなく漠然と	7.3
から		7 その他(具体的に)	2.0
4 自分や家族の収入の状況から	37.5		

(問2で「3 悪くなっていると思う」と答えた方にお聞きします)

問4. 景気に関して、次にあげる中であなたの実感に近いのはどれですか。(〇はいくつでも)

1 企業の努力などにより、景気は時間が経てばいずれ良くなると思う	19.3
2 不景気になっても、経済や社会の構造を改革するためならやむをえないと思う	14.7
3 不景気だとは言っても、日本の国は豊かになっており、自分の暮らし向きについて言えば生活に困るというほど深刻ではないと思う	24.9
4 不景気はこれまで経験したことがないくらい深刻であり、企業の自助努力などでは対応に限界があると思う	52.4
5 その他(具体的に)	5.7

(全員にお聞きします)

問5. 1年後の景気は、現在と比べてどうなると思いますか。(○は1つ)

1 良くなっていると思う 11.2	2 変わらないと思う 76.6	3 悪くなっていると思う 12.1
-------------------------	-----------------------	-------------------------

問6. 以下にあげる4つの事柄((1)~(4))に関して、あなたはA、Bのどちらをより意識しますか。(○はそれぞれ1つ)

	事柄	A	[1]	[2]	[3]	B
			Aに近いかと 言えば	言えない どちらとも	Bに近いかと 言えば	
(1)	減税	国・地方の税収の減少(財政負担の増加)を招く	20.7	34.6	44.6	家計・企業の税負担を減らす
(2)	公的年金の改革	年金の給付水準が切り下げられる	32.0	30.2	37.7	年金制度を維持させる
(3)	公共投資	財政負担の増加に繋がる	32.9	38.4	28.5	景気を回復させる
(4)	規制緩和	企業間の競争をより激しくさせる	21.5	40.3	38.1	競争を通じ、モノやサービスの価格を低下させる

問7. 現在の金利水準に関して、どのようにお考えになりますか。(○は2つまで)

- | | |
|--|------|
| 1 企業の活動が活発になり、景気が良くなることを期待している | 36.0 |
| 2 現在の金利水準でも、景気が良くなることは期待できない | 48.2 |
| 3 預金などから受け取る利子が少ないのがつらい | 49.2 |
| 4 受け取る利子は少ないが、物価が安定しており、元本が目減りしないので大きな不満はない | 11.5 |
| 5 住宅ローンなどの借入をしようと考えている(あるいは、既にして)るので金利負担が小さいのは、助かる | 15.6 |
| 6 その他(具体的に) | 1.0 |

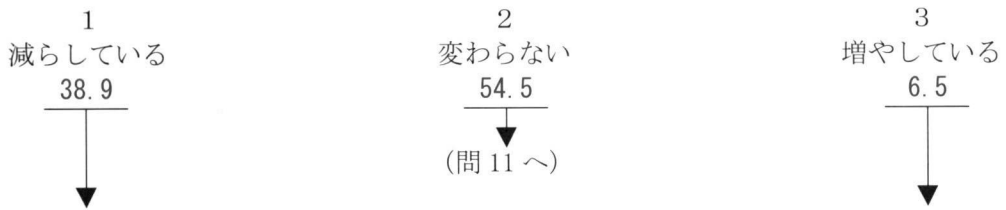
問8. 1年前と比べて、あなた(またはご家族)の収入はどうなりましたか。(○は1つ)

1 増えた 7.1	2 変わらない 51.0	3 減った 41.8
-----------------	--------------------	------------------

問9. 1年後のあなた(またはご家族)の収入は、現在と比べてどうなると思いますか。(○は1つ)

1 増えると思う 7.0	2 変わらないと思う 62.5	3 減ると思う 30.3
--------------------	-----------------------	--------------------

問10. 1年前と比べて、あなた(またはご家族)の支出をどのようにしていますか。(○は1つ)



(問10で1と答えた方にお聞きします)

問10-1a. 支出を減らしているのはなぜですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------------|------|
| 1 不景気やリストラなどのために収入が頭打ちになったり減ったりしているから | 49.2 |
| 2 将来の仕事や収入に不安があるから | 59.3 |
| 3 今後は年金や社会保険の給付が少なくなるのではないかと不安から | 54.8 |
| 4 将来、増税や社会保障負担の引き上げが行われるのではないかと不安から | 35.7 |
| 5 住宅ローンを抱える一方で、購入した家などの不動産が値下がりしたから | 7.7 |
| 6 購入した株式や債券などの金融資産が値下がりしたから | 5.3 |
| 7 欲しい商品やサービスがあまりないから | 10.8 |
| 8 たまたま大きな支出項目がなかったから | 5.7 |
| 9 なんとなく | 1.3 |

(問10で3と答えた方にお聞きします)

問10-1b. 支出を増やしているのはなぜですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|------|
| 1 収入が増えているから | 16.1 |
| 2 将来、収入が増えると見込まれるから | 4.9 |
| 3 減税等に伴い、家計の負担が減少したから | 3.4 |
| 4 今後、年金や社会保険の改善・充実等が見込まれるから | 2.9 |
| 5 購入した家などの不動産が値上がりしたから | 2.4 |
| 6 購入した株式や債券などの金融資産が値上がりしたから | 2.0 |
| 7 欲しい商品やサービスがあるから | 32.7 |
| 8 たまたま大きな支出項目があったから | 62.4 |
| 9 なんとなく | 7.8 |

(全員にお聞きします)

問11. 問10の支出を、(1)生活費や教育費など日常的な支出(生活していくためのお金)と、(2)趣味やレジャーなど選択的な支出((1)以外のお金)の2つに分けてみると、どうですか。(1)と(2)それぞれについてお答えください。(それぞれ○は1つ)

		[1] 切り詰めている	[2] なんとなく減らしている	[3] 変えていない	[4] やむなく増えている	[5] 増やしている
(1)	生活費や教育費など日常的な支出 (生活していくためのお金)	22.7	26.6	36.1	14.0	0.6
(2)	趣味やレジャーなど選択的な支出 (1)以外のお金)	30.3	35.0	27.0	5.3	2.4

問12. 今後1年間の支出をどのようにしようと考えていますか。(○は1つ)

1	2	3
減らそうと思う	現状を維持しようと思う	増やそうと思う
39.9	58.8	1.2

問13. あなたは、以下のどの項目が実現すれば支出を増やすと思いますか。(○はいくつでも)

1 一層の所得税減税	32.3
2 消費税率の引き下げ	42.6
3 住宅ローン、教育ローンなどがある人を対象とした政策減税	15.2
4 雇用や収入の不安の解消	45.9
5 金融システム不安の解消	16.2
6 年金改革や財政赤字などに対する指針を示し、国民負担の将来像を明確化する	35.0
7 その他(具体的に)	1.7
8 支出を増やすつもりはない	14.2

問14. 支出について今のあなたの考え方に特にあてはまるものはどれですか。(○は2つまで)

1 基本的には、収入が増えれば支出も増えると思う	63.3
2 現在の収入よりも将来の不安があるかないかによって、支出は変わると思う	47.4
3 住宅などの不動産を持っているので、こうした資産の値上がりや値下がりによって、支出は変わると思う	3.4
4 株式や投資信託などを持っているので、株価の値上がりや値下がりによって、支出は変わると思う	3.0
5 税金や社会保険料によっても手取り収入は変わるので、支出はこれらの影響も受けると思う	33.0
6 買いたいと思わせるような魅力的な商品やサービスがあるかどうかで支出は変わると思う	13.3
7 似たような新商品が次々に登場したり、短期間で価格が大きく変わったりすると、買い時の判断が影響を受けるから、支出は変わると思う	4.9

問15. 物価についてお聞きします。

1年前と比べて、現在の物価をどのように感じていますか。(○は1つ)

1	2	3	4	5
かなり下がっている	少し下がっている	ほとんど前年と変わっていない	少し上がっている	かなり上がっている
1.6	17.8	62.5	16.3	1.7

問16. あなたは、問15で物価を考えた際に、主にどのようなものの値段をイメージしましたか。(〇は3つまで)

1 食料品の値段	73.1	6 住宅の建設・修繕費や家賃	12.2
2 日用品の値段	54.0	7 旅行やレジャーの値段	11.6
3 電気製品、自動車などの耐久消費財の値段	23.7	8 病院の診察費や薬の値段	19.0
4 交通機関の運賃	13.1	9 学校や教育サービスの値段	5.2
5 電気、ガス、水道料金等の公共料金	33.7	10 その他(具体的に)	1.1

問17. 1年後の物価は、現在と比べるとどうなると思いますか。(〇は1つ)

1 かなり下がる	2 少し下がる	3 ほとんど今年と 変わらない	4 少し上がる	5 かなり上がる
0.3	5.5	69.2	23.4	1.5

問18. 今後の地価について、どのようなイメージを持っていますか。(〇は1つ)

1 以前と比べて随分下がったので、そろそろ上昇すると思う	9.2
2 現状程度が適切な水準であり、しばらくはこの程度だと思う	37.2
3 下がったと言っても、依然として高いので、まだ下がると思う	23.4
4 わからない	30.2

問19. あなたは、ご自分の暮らし向きについて、1年前と比較してどのように感じになっていますか。(〇は1つ)

1 どちらかと言えば ゆとりが出てきたと思う	6.0	2 どちらかと言えば 苦しくなってきたと思う	45.3	3 どちらとも言えない	48.7
	↓		↓		↓
					(問20へ)

(問19で1と答えた方にお聞きします)

問19-1a. その理由は次のうちのどれですか。(〇はいくつでも)

1 給与等の定期的な収入が増えたから	51.1
2 利子等のその他収入が増えたから	4.8
3 土地・住宅等の不動産の売却による収入があったから	1.6
4 物価が下がっている、あるいは、安定しているから	19.1
5 扶養家族が減ったから	30.9
6 その他(具体的に)	11.2

(問19で2と答えた方にお聞きします)

問19-1b. その理由は次のうちのどれですか。(〇はいくつでも)

1 給与等の定期的な収入が減ったから	66.9
2 利子等のその他収入が減ったから	20.8
3 土地・住宅等の不動産の購入費用がかさんだから	7.6
4 物価が上がっているから	18.5
5 扶養家族が増えたから	10.9
6 その他(具体的に)	16.0

(全員にお聞きします)

問20. 雇用の形態に関して、あなたのお考えはA、Bのどちらに近いですか。(○はそれぞれ1つ)

		[1] A に近い	[2] どちら も 言えない	[3] B に近い		
		A			B	
(1)	勤め人への賃金は年齢や勤続年数をもとに決められるのがよい	15.0	39.6	45.3	勤め人への賃金は業績や能力をもとに決められるのがよい	
(2)	1つの会社に長く勤めるのがよい	29.9	41.7	28.3	1つの会社にこだわる必要はない	

問21. あなた(またはご家族)の勤め先の経営、あるいは、あなた(またはご家族)が営んでいる事業に不安を感じていますか。(○は1つ)

1 あまり不安を感じていない 18.7	2 少し不安を感じている 49.3	3 かなり不安を感じている 23.0	4 自分も家族も関係ない 8.9
---------------------------	-------------------------	--------------------------	------------------------

問22. あなた(またはご家族)のところでは、給与や人員の抑制・削減といった合理化、リストラがここ1年くらいの間に行われましたか、あるいは今後予定されていますか。(○は1つ)

1 行われた 29.2	2 まだ行われていないが、 今後行われる予定である 12.0	3 行われていないし、今後 行われる予定もないと思う 24.5	4 わからない 34.1
-------------------	---	--	--------------------

(問23へ)

(問22で1または2と答えた方にお聞きします)

問22-1. 具体的には、どのようなことが実施されましたか、あるいは予定されていますか。(○はいくつでも)

1 時間外労働の削減	38.7
2 給与カットや賃金制度の見直し	56.3
3 新卒採用の抑制	29.5
4 出向や早期退職勧奨などによる人員の削減	31.5
5 ポストの削減や組織の改革	23.3
6 人事、資格制度の見直し	21.8
7 その他(具体的に)	3.2
8 予定されているが、具体的にはわからない	2.9

(全員にお聞きします)

問23. あなた(またはご家族)の勤め先での雇用・処遇(給与、昇格、福利厚生など)に不安を感じていますか。(〇は1つ)

1	2	3	4
あまり不安を感じていない	少し不安を感じている	かなり不安を感じている	自分も家族も関係ない
19.1	48.1	20.4	12.2

問24. あなたのご家族の中で、就職・再就職を考えている方は(あなた自身を含めて)いらっしゃいますか。(〇は1つ)

1	2
いる	いない
33.2	66.8
↓	↓
	(問25へ)

(問24で1と答えた方にお聞きします)

問24-1. あなた(またはその方)の就職・再就職に不安を感じていますか。(〇は1つ)

1	あまり不安を感じていない	7.4
2	少し不安を感じている	41.7
3	かなり不安を感じている	50.9

(全員にお聞きします)

問25. 住宅(マイホーム)に関して、あなたはどのようにお考えですか。既にマイホームをお持ちの方も、ご自身の考え方をお答えください。(〇は1つ)

1	やはり自分の家、土地を持ちたいと思う	65.3
2	持家にこだわらないので、賃貸住宅に住み続けてよいと思う	7.5
3	親と同居している(今後する予定である)ので、自分で家を持つことを特に意識していない	11.8
4	いずれとも言えない	15.3

問26. 景気対策の一環として、来年までに新しいマイホームに住み始める方に限り、住宅ローン減税全般が拡充されていることを、あなたにご存知ですか。(〇は1つ)

1	2	3
内容まで知っている	見聞きしたことはある	まったく知らない
8.3	51.3	39.9

問27. マイホームなどの購入・買い替えを具体的に計画していますか。(〇は1つ)

1	2	3	4
いまのところ購入・ 買い替えの計画はない	はじめてマイホームを 購入する計画がある	買い替えの計画がある	セカンドハウスを購入 する計画がある
93.0	2.9	3.0	0.8

(問27で 1 と答えた方にお聞きします)

問27-1a. どのような条件が満たされれば購入・
買い替えをしてもよいと思いますか。
(〇はいくつでも)

1	住宅価格、地価が低下すれば	18.5
2	住宅ローン金利が低下すれば	10.0
3	雇用・収入などの不安がなくなれば	22.8
4	一層の税制面の支援策があれば	7.1
5	自分の考える条件(広さや環境、 通勤時間など)にあった物件があ れば	14.2
6	その他(具体的に)	9.5
7	どうしても購入や買い替えは考え られない	51.6

(問27で 2~4 のいずれかを答えた方にお聞
きします)

問27-1b. いまごろ購入・買い替えをしようと
計画していますか。(〇は1つ)

1	今年中	14.6
2	来年中	16.0
3	再来年以降	17.8
4	時期についてはまだ考えていない	51.6

問27-2b. どのような理由から、購入・買い替
えの計画を立てましたか。
(〇はいくつでも)

1	住宅価格、地価が低下したから	18.8
2	住宅ローン金利が低下したから	18.3
3	雇用・収入などの不安がなくなっ たから	8.9
4	税制面の支援策があったから	12.7
5	自分の考える条件(広さや環境、 通勤時間など)にあった物件が あったから	31.9
6	その他(具体的に)	31.0

(全員にお聞きします)

問28. あなたには、住宅ローンや消費者ローンなどの借入金がありますか。(〇は1つ)

1
あ る
35.6

2
な い
64.2

(問29へ)

(問28で1と答えた方にお聞きします)

問28-1. あなたは、最近、借入の返済について何かしましたか。

(〇は1つ)

- | | | |
|---|----------------------|------|
| 1 | 今後1回当たりの返済額が減るようにした | 11.5 |
| 2 | 今後1回当たりの返済額が増えるようにした | 0.6 |
| 3 | 返済期間を短縮するようにした | 11.4 |
| 4 | 返済期間を延長するようにした | 3.4 |
| 5 | 特に何もしていない | 73.1 |

(問29へ)

(問28-1で1~4のいずれかを答えた方にお聞きします)

問28-2. 具体的にはどうしましたか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|---|------------|------|
| 1 | 借り換えを行った | 49.0 |
| 2 | 繰上げ返済を行った | 27.8 |
| 3 | 返済方法を変えた | 28.8 |
| 4 | その他(具体的に) | 2.3 |

問28-3. また、そのようにしたのは、なぜですか。

(〇はいくつでも)

- | | | |
|---|-----------------------------------|------|
| 1 | 減税や株価の上昇などで手元の資金が増えたから | 2.6 |
| 2 | 将来の収入が不安だから | 34.4 |
| 3 | 現在の収入が減って、毎回の返済負担が重くなったから | 28.5 |
| 4 | 低金利だから | 47.7 |
| 5 | 当初の返済方法の取り決めにしたがって、毎回の返済額が急に増えたから | 7.0 |
| 6 | 早く返済することを催促されたから | 2.6 |
| 7 | その他(具体的に) | 7.0 |

(全員にお聞きします)

問29. あなたの家計全体のバランスについて、以下の中から最も近い感じのものをお選びください。(○は1つ)

- | | | |
|---|---|------|
| 1 | 住宅ローン等の借入はほとんどなく、一方で資産(持家もしくは金融資産等)はそこそこあるので、資産と負債のバランスに関する不安はない | 57.7 |
| 2 | 住宅ローン等の借入があるものの、資産(持家もしくは金融資産等)の値下がりはそのほど大きくないため、資産と負債のバランス面で大きな不安は抱えていない | 21.2 |
| 3 | 住宅ローン等の借入がある一方、資産(持家もしくは金融資産等)の値下がり激しく、資産と負債のバランスが崩れて不安を抱えている | 16.1 |

問30. あなたは金融機関経営や金融システム問題にどの程度関心がありますか。(○は1つ)

1	2	3
非常に関心がある	それなりに関心がある	あまり関心がない
9.7	49.4	40.9

問31. 金融機関の経営破綻から、あなたは何をお感じになりますか。(○は2つまで)

- | | | |
|---|-------------------------------|------|
| 1 | 金融機関に預けてある自分の貯蓄が大丈夫かどうか不安だ | 45.5 |
| 2 | 自分の仕事や収入の面にも悪い影響が出るのではないかと不安だ | 38.1 |
| 3 | 自分の生活には特に影響はないと思う | 34.3 |

問32. 金融不安・金融機関破綻のニュースを聞いてあなたの行動はどう変わりましたか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---|---------------------------|------|
| 1 | 預貯金など貯蓄の預け先を替えた | 9.6 |
| 2 | 預貯金など貯蓄の預け先を替えることを考えている | 9.6 |
| 3 | 預貯金など貯蓄の預け先を分散した | 8.8 |
| 4 | 預貯金など貯蓄の預け先を分散させることを考えている | 12.2 |
| 5 | 金融機関に関する情報に気を付けるようになった | 43.1 |
| 6 | 消費を手控えるようになった | 16.4 |
| 7 | 株価を気にするようになった | 8.2 |
| 8 | 特に変わったことはない | 36.0 |

問33. 預金には預金者保護のために、原則として1金融機関につき、預金者1人当たり元本1,000万円とその利息に対して保険が掛けられていることをご存知ですか。(○は1つ)

1	2	3
内容まで知っている	見聞きしたことはある	まったく知らない
11.8	46.1	42.1

問34. 預金者保護のための特例として、現在、1,000万円を上回る元本部分やその利息を含めて預金の全額が保護されることをご存知ですか。(○は1つ)

1	2	3
内容まで知っている	見聞きしたことはある	まったく知らない
8.7	39.9	51.3
↓		↓

(問34で1または2と答えた方にお聞きします)

(問35へ)

問34-1. この預金者保護のための特例の期限は、これまで2001年3月末であったことをご存知ですか。(○は1つ)

1	知っている	44.3
2	知らない	55.6

問34-2. 今年の5月、特例の期限(2001年3月末)の1年延長を含む、預金者保護のための制度改正が行われました。この制度改正についてお聞きします。

あなたは、特例の期限の1年延長について、ご存知ですか。(○は1つ)

1	知っている	31.7
2	知らない	68.3

問34-3. また、改正にあたっては、上記の特例期限以降もできるだけペイオフを回避するなど、新たな制度運営の方針が示されましたが、あなたは、こうした方針について、ご存知ですか。(○は1つ)

1	知っている	20.6
2	知らない	79.4

(全員にお聞きします)

問35. あなたは、公的介護保険をご存知ですか。(○は1つ)

1	2	3	4
詳しく知っている	詳しくはないが、どう いったものかは知って いる	言葉自体は見聞きし たことがある	まったく知らない
6.0	57.7	30.5	5.8

(問 36 へ)

(問 35 で 1 または 2 と答えた方にお聞きします)

問35-1. 公的介護保険の導入により、老後の生活に対する不安はど
う変わりましたか。(○は1つ)

1	不安感がかなり減った	2.1
2	不安感がある程度減った	16.7
3	不安感是不変わる	51.9
4	むしろ不安感が増した	22.3
5	もともと不安感はない	6.7

問35-2. 公的介護保険の導入により、老後の生活のための貯蓄の計
画は変わりましたか。(○は1つ)

1	公的介護保険が導入されたので、老後の生活の ための貯蓄を増やしていこうと考えている	16.1
2	公的介護保険が導入されたので、老後の生活の ための貯蓄を減らしていこうと考えている	1.2
3	公的介護保険の導入による影響はない	26.5
4	今は様子を見ているので、わからない	56.2

(全員にお聞きします)

問36. 将来、あなた自身が介護を受けることになった時、「家族・親類」と「業者」のどちらに介護を
お願いしたいですか。(○は1つ)

1	家族・親類のみをお願いしたい	14.3
2	業者にもお願いするが、どちらかというとな家族・親類の方に多くお願いしたい	31.3
3	家族・親類、業者のどちらにも同じ程度、お願いしたい	22.1
4	家族・親類にもお願いするが、どちらかというとな業者の方に多くお願いしたい	22.9
5	業者のみをお願いしたい	9.1

問37. 将来、あなた自身が介護を受けることになった時、その時の介護費用はどのくらいになると予想されますか。介護を受けることになった時の、あなたのご家庭の毎月の支出のうち、どのくらいを占めるかでお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|---|-------------------------------|------|
| 1 | 毎月の支出の1割未満を、介護費用が占めると思う | 14.4 |
| 2 | 毎月の支出の1割から4分の1程度を、介護費用が占めると思う | 39.5 |
| 3 | 毎月の支出の4分の1から半分程度を、介護費用が占めると思う | 25.2 |
| 4 | 毎月の支出の半分以上を、介護費用が占めると思う | 18.2 |

問38. 次の(1)～(4)の意見について、あなたのお考えはA、Bのどちらに近いですか。
(○はそれぞれ1つ)

		[1] A どちらかと言えば 近い	[2] 言えない どちらとも	[3] B どちらかと言えば 近い		
					A	B
(1)	老後の生活は、主に就労や貯蓄など自助努力によってまかなうべきだ	15.3	38.5	46.1	老後の生活は、主に年金など国や公的制度によってまかなわれるべきだ	
(2)	自分より若い世代の負担を増やさないために、現在の年金・医療・介護保険制度は縮小していくべきだ	19.7	49.6	30.6	自分より若い世代の負担が増えるかもしれないが、現在の年金・医療・介護保険制度は維持・充実させるべきだ	
(3)	老後は、消費よりも、貯蓄や不動産などの資産形成に努めたい	15.7	55.9	28.3	老後は、貯蓄や不動産などの資産形成よりも、消費を優先したい	
(4)	少子化は、家族・家庭に対する個々人の価値観が変化したことなどによるものなので、価値観が変わらない限り問題は解決しないだろう	28.1	42.2	29.6	少子化は、家族・家庭を取り巻く様々な環境(住宅、教育など)が障害になっているものなので、障害が取り除かれれば問題は解決していくだろう	

(全員にお聞きします)

最後に、あなたご自身のことやお宅のことについておうかがいします。
 [立ち入ったことも含まれていますが、調査結果を分析するために使いますので、さしつかえなければお答えください。]

F 1. あなたの性別は。

1 男 49.7	2 女 50.3
----------------	----------------

F 2. あなたの年齢は。(満年齢でお答えください。)

1 20～29歳 13.7	2 30～39歳 16.6	3 40～49歳 18.8	4 50～59歳 22.3	5 60～69歳 17.5	6 70歳以上 11.0
---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	--------------------

F 3. 結婚していらっしゃいますか。

1 既婚 (配偶者あり) 74.5	2 既婚 (配偶者と離別・死別) 9.2	3 未婚 16.1
-------------------------	----------------------------	-----------------

F 4. あなたのご職業は。(○は1つ)

自営業・ 家族従業者 17.0	{	1 農林漁業 4.4 2 商工・サービス業 9.9 3 自由業 2.8	勤労者 50.4	{	4 管理職 5.6 5 専門技術職・教員 8.5 6 事務職 8.7 7 労務職 9.9 8 販売・サービス職 7.7 9 パート勤め 10.1	無職者 32.4	{	10 専業主婦 14.0 11 学生 1.3 12 年金・恩給生活者 13.0 13 その他無職 4.1
-----------------------	---	---	-------------	---	---	-------------	---	---

(F 4で 1～10 のいずれかを答えた方にお聞きします)

F 4-1. あなたのお仕事あるいは勤め先の業種は何ですか。パート勤めの方は、お宅の中で主として生計を支えていらっしゃる方の業種について、専業主婦の方は、ご主人の勤め先の業種についてお答えください。

1 農林漁業 8.2	6 金融・保険業 3.8
2 製造業 19.8	7 電気・ガス・水道業 2.8
3 卸・小売業、飲食店 14.5	8 サービス業 21.4
4 運輸・通信業 6.1	9 公務員 9.3
5 建設・不動産業 11.6	10 その他 (具体的に) 1.6

(全員にお聞きします)

F 5. 主としてお宅の生計を支えていらっしゃるのはあなたですか。
(夫婦で同じ程度という場合などは、「1 はい」に○をつけてください。)

1	2
はい	いいえ
54.4	45.4

F 6. あなた(および配偶者)の昨年1年間の収入(税込み)は、次のどの区分に入りますか。
(ただし、退職金や土地の売却代金など一時的な収入は除いてください。)(○は1つ)

1 収入はない	6.3	4 1,000万円~1,500万円未満	5.6
2 500万円未満	55.0	5 1,500万円以上	1.3
3 500万円~1,000万円未満	29.2		

F 7. あなた(および配偶者)は収入(生活費)をどのようなかたちで得ていますか。
以下から、あてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

1 給料(賃金)	68.9	6 株式などの配当や運用益	1.3
2 事業からの収益	11.5	7 預金など貯蓄の取り崩し	6.6
3 アパートなどの不動産からの賃貸料	3.5	8 家族や国などからの援助	3.5
4 年金	24.5	9 その他(具体的に)	0.4
5 利子収入	1.5	10 収入はない	2.0

(F 8へ進む)

(F 7で 1~9 のいずれかを答えた方にお聞きします)

F 7-1. F 7で、あなたが○をおつけになったものの中で、最も金額の多いものを1つ選んでください。
(○は1つ)

1 給料(賃金)	66.4	6 株式などの配当や運用益	0.1
2 事業からの収益	9.5	7 預金など貯蓄の取り崩し	1.3
3 アパートなどの不動産からの賃貸料	1.5	8 家族や国などからの援助	2.0
4 年金	18.8	9 その他(具体的に)	0.3
5 利子収入	0.0		

(全員にお聞きします)

F 8. あなた(および配偶者)の貯蓄残高は、次のどの区分に入りますか。事業目的のものを除いた預貯金、信託、保険、株式、債券、投信などの合計額でお答えください。なお、生命保険、損害保険、共済については掛け捨て型のものを除いてお答えください。(○は1つ)

1 貯蓄はない	18.6	4 1,000万円~2,000万円未満	9.7
2 500万円未満	43.1	5 2,000万円以上	7.6
3 500万円~1,000万円未満	15.7		

F 9. あなた（および配偶者）の借入残高は、次のどの区分に入りますか。（○は1つ）
 （注）クレジットカードを利用しての買い物や事業目的の借入は除きます。

1	借入金はない	59.8	4	1,000万円～2,000万円未満	7.6
2	500万円未満	17.3	5	2,000万円～5,000万円未満	5.7
3	500万円～1,000万円未満	5.9	6	5,000万円以上	0.6

F 10. 現在一緒に住んでいるご家族の構成は。（○は1つ）

1	1人住まい世帯	6.3	4	親と子と孫の3世代世帯	16.8
2	夫婦だけ世帯	23.8	5	その他（具体的に）	1.6
3	親と子の2世代世帯	51.0			

（F 10で3 または 4 と答えた方にお聞きします）

F 10-1. 世帯の中であなたが位置する世代は。（○は1つ）

1	親世代	59.0	2	子世代	38.5	3	孫世代	2.3
---	-----	------	---	-----	------	---	-----	-----

（全員にお聞きします）

F 11. あなた（またはご家族）のお住まいは次のどれにあたりますか。複数ある場合は、あなた自身が生活の拠点としているお住まいについてお答えください。（○は1つ）

1	土地付き持家	68.1	4	借家	4.4
2	持家のマンション	5.8	5	賃貸マンション・アパート	14.8
3	借地持家	3.7	6	社宅、官舎、寮	3.0

F 12. あなたは、マスコミの金融、株式に関する報道を熱心に見るほうですか。（○は1つ）

1	熱心に見る	16.7	2	あまり見ない	63.2	3	まったく見ない	19.9
---	-------	------	---	--------	------	---	---------	------

F 13. あなたが、日頃、様々な情報を入手するために利用している主な手段は何ですか。（○は1つ）

1	新聞記事	50.0	5	インターネット	2.6
2	雑誌記事	1.4	6	携帯電話サイト（5を除く）	0.3
3	テレビ・ラジオの番組	43.6	7	一般書籍	0.5
4	広告、CM	1.2	8	その他（具体的に）	0.2